

「はやぶさ」カプセル再突入における地上観測研究会 プログラム

開催日:平成21年7月18日(土)

場 所:JAXA 宇宙科学研究本部 本館2階大会議場
(○印:講演者)

プロローグ(10:00~10:20)

【司会:藤田和央】

- 10:00~10:10 開会の挨拶
○ 川口淳一郎(JAXA/はやぶさプロジェクトマネージャー)
- 10:10~10:20 はやぶさサンプルリターンカプセルの大気再突入と回収概要
山田哲哉(JAXA)
○ 藤田和央(JAXA)

セッション(1):流星観測における科学(10:20~12:00)

【司会:矢野創】

- 10:20~10:40 流星痕観測の応用による「はやぶさ」突入時の動画/静止画撮影
戸田雅之(日本流星研究会),
○ 山本真行(高知工科大学)
- 10:40~11:00 はやぶさカプセル再突入におけるインフラサウンド・地震波同時観測計画
○ 山本真行(高知工科大学)
石原吉明(国立天文台)
平松良浩(金沢大学)
古本宗充(名古屋大学)
- 11:00~11:20 カプセル再突入に伴う発光プラズマの分光計測
○ 阿部新助(台湾国立中央大學)
- 11:20~11:40 半自動追尾によるカプセル表面放射の分光計測
○ 藤田和央(JAXA)
- 11:40~12:00 フィナーレの火に、油を注げ —— よりよきアウトリーチのために
○ 喜多充成(フリーランスライター)

(休憩)(12:00~13:30)

セッション(2):光学情報に基づく再突入軌道推定、着地点予測(13:30~15:30)

【司会:山本真行】

- 13:30~13:50 流星の大気減速補正
○ 重野好彦(流星物理セミナー)
- 13:50~14:10 流星の自動 TV 観測網
○ 上田昌良(日本流星研究会)
司馬康生(日本流星研究会)
藤原康徳(日本流星研究会)
- 14:10~14:30 誤差を含む多点地上観測データによる最確軌道決定法
○ 藤田和央(JAXA)
阿部新助(台湾國立中央大學)
- 14:30~14:50 Hayabusa Sample Return Capsule Trajectory Estimation Using Ground-Based and Aerial Optical Sensors
○ Michael A. Shoemaker (九州大学)
Jozef C. van der Ha (九州大学)
- 14:50~15:30 自由討論

【講演上の注意】

1. セッションの講演時間は、自己紹介、発表、質疑応答を含めて原則20分とします。講演15分、質疑応答5分を目安にしてください。
2. 講演会場にはプロジェクターとノート PC が準備されています。発表資料をパワーポイントで作成のうえ、USB または CD-ROM にてご持参ください。ただし講演を各位の PC で行っていただいてもかまいません。
3. 研究会後、講演資料を集めて講演集を作成し、出席者および関係者へ配布したいと考えておりますので、発表資料をご提供いただければ幸いです。配布にコピーライト等の問題がある場合は、配布に問題の無い修正版のご提供をお願いいたします。
4. その他、不明な点は藤田和央(TEL:0422-40-3231/Email:fujita.kazuhisa@jaxa.jp)へお問い合わせください。